

鹿児島市の南和

有明に來春メガソーラー

企業へ電力販売

南和（鹿児島市）は大規模太陽光発電所（メガソーラー）を志布志市有明町野神に建設する。出力は約1400kwで、発電した電力は電力50kw以上を契約する企業などに販売する。再生可能エネルギーの発電事業者が電力会社以外に売電するのは県内で初めて。12月着工、来春完成予定。

同社は大口の企業や業者（新電力）で、県内への参入企業は同社だけ。売電だけでなく、再生可能エネルギーの再生可能エネルギー事業者から固定価格よりも高く買い取る事業も展開する。メガソーラーは約2

万平方メートルの建設予定地に三菱電機製のパネル5600枚を設置する。年間の発電量は一般家庭約450世帯相当の148万kw時で、約524トンの二酸化炭素排出を抑制すると推計する。総事業費は約4億円。

川畑佑樹常務取締役は「初期投資をかけずに固定経費を圧縮でき、県唯一の新電力として、再生可能エネルギーの地産地消を目指したい」と話した。